

# みらいはゆめいろりレー展

宮城・南三陸で始まる

人には、その願いを感じ取り、かなえる責任がある」と話した。

東日本大震災で被災した宮城県南三陸町の子どもと、30万人以上が犠牲になったハイチ地震（2010年）を体験した子どもが描いた絵画の巡回展「みらいはゆめいろりレー展」が31日、南三陸町の南三陸ホテル観洋で始まった。5日まで。入場無料。

ハイチ地震の被災児童らを支援するNGO「Future Code（フューチャーコード）」

## 東日本大震災

# 絵画に込めた被災児童の夢

## ハイチ地震

（神戸市）と、南三陸町を中心支援活動をする任意団体「仙台フィールドワーカーズ」（仙台市泉区）が主催した。

「未来の夢」をテーマに両被災地の子ども約110人が描いたパステル画や、主催団体の活動を紹介するパネルなど計約200点を展示。自宅の横に笑顔で立つ家族、豊かな海を象徴するタコなど、南三陸の子どもが夢を託した作品が並ぶ。

31日はハイチ共和国大使館（東京）のジュディ・エグザヴィエール臨時代理大使と、佐藤仁南三陸町長が会場を訪れ、絵を鑑賞した。

エグザヴィエール氏は「絵には言葉にならない被災した子どもの悲しみや、望ましい社会への願いが込められている。大

表は「被災地に国境はないことを絵を通して感じてほしい」と語った。

リレー展は7月9日の神戸市を皮切りに、関西を中心に巡回。8月7

## つながる

12日は仙台市太白区のスーパースポーツゼビオあすと長町店で、9月は長崎市の長崎県美術館でそれぞれ開かれる。



佐藤南三陸町長（左）と並んで作品を鑑賞するジュディ・エグザヴィエールハイチ共和国臨時代理大使ら